

2011 年

6 月 15 日（水曜日） 食を育み命が養われる里・丹後 - 京都「丹後・食の王国」食の大商談会 -

本日は、京都「丹後・食の王国」食の大商談会に、佐竹・日本フードサービス協会会長さんはじめ多くの会員の皆さん、関係者の皆さんが遠路、京丹後市あじわいの郷までお越しいただき、心から歓迎を申し上げます。山田知事をはじめ京都府の関係者の皆さんにもこの素晴らしい催しを開催いただき、本当にありがとうございます。

本市は、ご案内のように海岸線が山陰海岸国立公園、かつては若狭湾国立公園でしたが丹後天橋立大江山国立公園に全線が指定される景勝の地ですが、地理的な観点からいうと、山陰海岸国立公園地域いわば山陰地方の一番東の端にあり、旧若狭湾国立公園地域いわば北陸地方の一番西の端にあり、さらに近畿地方の一番北の端にある、三端の地域であります。しかしながらこのことは、視点を換えれば、丹後から西に山陰がはじまり、丹後から東に北陸がはじまり、丹後から南に近畿がはじまる、日本大の地政上の起点でもあるといえます。と同時に、このことの含意は、丹後は、山陰でもあり北陸でもあり近畿でもあるという、とても多様な地理的、気候的、文化的環境を有しているということでもあります。

それゆえにも、植生一つとっても大変豊かで、野生で自生している確認されている薬草の種類だけでも約 270 種あり、これが中国の漢方薬の薬都である ^{はくしゅう} 亳州市に大変注目されて、いまでは同市との間で友好都市提携が交わされて交流が進められているほどにもなっています。また、みかんができる北限、りんごができる南限とも言われ、みかんもりんごもつくるのは丹後くらいではないかというほどの環境の多様さははらむ地域です（※実際のところは不明ですが…）。さらには、丹後の沖合いの日本海は、ちょうど寒流と対馬からの暖流が交わるあたりで、海的环境も多様さを有しています。このように、丹後は、山や里も海も、生き物や食を育む栄養の本当に豊かな地域であるのです。

そして、多分そんなこともあって、丹後に住む人々も長寿に恵まれている住民の方が本当に多く、現在、114 歳で男性長寿世界一の木村さんも京丹後市在住ですし、本市には百歳以上の方が 90 人以上在住され、人口約 6 万の規模からすると百寿率は全国平均の 3~4 倍にもなるのではと思います。このように、丹後は、大切な命が長く養われる里でもあるのです。

私たちは、そんな丹後で生まれた海や山、里の食材を大いに誇りに思っていますし、ぜひ、命が豊かに養われるこのような丹後の海と大地の恵みを広く近畿や全国各地の皆さんに味わっていただきたいと願っています。